

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公開番号】特開 2005-269977(P2005-269977A)  
 【公開日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-039  
 【出願番号】特願 2004-87439(P2004-87439)  
 【国際特許分類】

**A 0 1 B 35/00 (2006.01)**

**A 0 1 B 63/24 (2006.01)**

【F I】

A 0 1 B 35/00 B

A 0 1 B 35/00 C

A 0 1 B 35/00 E

A 0 1 B 63/24

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 3 月 23 日 (2007.3.23)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

走行機体の後部に装着され、旧畦を切り崩して土盛りを行なう前処理部と該前処理部により盛られた土を切り崩された旧畦上に塗り付ける整畦部とを備え、前記走行機体から伝達される動力によって前記前処理部及び前記整畦部を駆動して畦塗り作業を行なう畦塗り機において、

前記整畦部は、回転中心軸心が上下方向に延びて回転動可能に支持され、旧畦上面を整畦可能な第 1 周面を有する上回転体部と、該上回転体部の下方に配設されて前記旧畦の一方側面を整畦可能な第 2 周面を有する下回転体部とを備え、

前記整畦部の前記回転中心軸心は、前記整畦部の駆動軸心に対して偏心していることを特徴とする畦塗り機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

また、本発明は、走行機体の後部に装着され、旧畦を切り崩して土盛りを行なう前処理部と該前処理部により盛られた土を切り崩された旧畦上に塗り付ける整畦部とを備え、走行機体から伝達される動力によって前処理部及び整畦部を駆動して畦塗り作業を行なう畦塗り機において、整畦部は、回転中心軸心が上下方向に延びて回転動可能に支持され、旧畦上面を整畦可能な第 1 周面を有する上回転体部と、該上回転体部の下方に配設されて旧畦の一方側面を整畦可能な第 2 周面を有する下回転体部とを備え、整畦部の回転中心軸心は、整畦部の駆動軸心に対して偏心していることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

この発明によれば、整畦部は、上下方向に延びた回転中心軸心を回転中心として回転可能であり、旧畦上面を整畦する第 1 周面を有する上回転体部と、旧畦の一方側面を整畦する第 2 周面を有する下回転体部とを備え、整畦部の回転中心軸心が整畦部の駆動軸心に対して偏心していることにより、整畦部の駆動軸が回転動すると、整畦部の回転中心軸心は振れながら回転して、第 2 周面は回転しながら旧畦の一方側面に対して接近動及び離反動する。このため、旧畦上に盛られた土は、第 1 周面によって押し付けられて締まりのある畦上面に成形され、第 2 周面によって旧畦の一方側面上に押し付けられて、締まりのある一方側面を成形される。このため、全体が締まりのある新畦を成形することができる。